

10
24

小学校教育功労者への大臣感謝状を受賞 －新教育制度施行75周年を記念－

小学校教育に長く従事し、小学校教育の振興に貢献したとして、上村茂一さん（元八幡小学校長）に文部科学大臣から感謝状が贈られました。上村さんは「これからも教育のために、子供たちのために、地域のために、少しでも役立つことがあれば頑張っていきたい」と今後の抱負を述べられました。

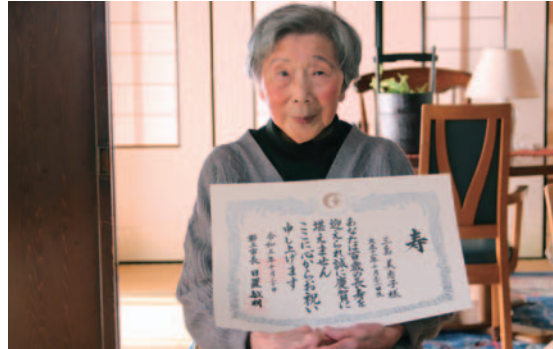


▲受賞を報告する上村さん（左）

10
30

長寿者褒賞 －100歳おめでとうございます！－

三島美恵子さんが100歳を迎えられました。青木副市長が自宅を訪れ、お祝い状などを手渡しました。かつては小学校の先生をされ、80歳ころまで俳句や書道をされていたそうで、当時は振り返り楽しそうにお話をされました。今は新聞や本を読むことが日課とのこと。いつまでもお元気で。



▲三島さん（白鳥町）
大正12年10月31日生まれ

11
1

厚生労働大臣表彰 （食生活改善事業功労者）を受彰 －年齢に応じた食生活改善の普及に尽力－

栄養改善及び食生活改善事業の普及向上等に功労があったとして、高橋香代子さん（大和町）が厚生労働大臣表彰（食生活改善事業功労者）を受彰されました。平成元年、旧大和町食生活改善推進協議会に入会し、減塩食やバランスのとれた食生活の普及・啓発に取り組まれたことが認められ、このたびの受彰となりました。



▲受彰を報告する
高橋さん（右）

11
2

長寿者褒賞 －100歳おめでとうございます！－

小椋ちゑのさんが100歳を迎えられました。入所されている「東山ハイツ（関市）」でお祝い状などをお渡ししました。手先が器用で昔はよく服を編まれていたそうです。今は施設で雑巾をたくさん縫い、施設から市内の小学校に配られているそうです。いつまでもお元気で。



▲小椋さん（美並町）
大正12年11月6日生まれ

11
6

明宝財産区管理会 林野庁長官賞を受賞 －林業の持続的かつ健全な発展に寄与－

「第62回全国林業経営推奨行事」の賞状伝達贈呈式が11月2日（木）に東京で開催され、明宝財産区管理会が林野庁長官賞を受賞されました。森林の適正な管理や造林技術の伝承活動など、地域に根差した財産区の取組みが評価され、このたびの受賞となりました。



▲受賞を報告する石田五秀
管理会長（右）

11 / 7

微風の会 閉会の集い

－旧満州支援の活動資料を寄附－

旧満州地域の学生に、奨学金を贈る活動等を行ってきた「微風の会」が、閉会に際して30年分の活動の諸資料と200万円を郡上市に寄附されました。同会は、玉田澄子さん（旧和良村出身）が満州引揚体験を綴った書籍「大地の風」がきっかけとなり発足。敗戦後の中国のみなさんの恩情と過去に対するお詫び、未来の日中の友好を願って、これまで活動されてきました。



▲発起人 玉田さん（左）

11 / 10

林道「白尾～鷲見線」完成式

－林業振興に寄与－

林道「白尾～鷲見線」の完成式が行われました。本林道は、白鳥町六ノ里から高鷲町鷲見までをつなぐ全延長約17.7kmの森林基幹道で、岐阜県の代行事業として工事が進められ、33年の歳月をかけ整備されました。本林道の完成により、林業施業の活性化などが期待されます。



▲完成をテープカットで祝う関係者のみなさん

11 / 14

全国大会出場報告会

－日頃の練習の成果を発揮－

2023特別全国障害者スポーツ大会（10/28～30）において、郡上特別支援学校高等部3年の下前虹愛輝選手が高成績を納められました。下前選手は市教育委員会を訪れ教育長に結果を報告し、また「練習を重ね結果を残せて嬉しかったです」と、語られました。



▲メダルを手にする下前選手

【種目：フライングディスク】 アキュラシーディスクリート・ファイブ：1位 ディスタンスメンズ・スタンディング：3位

11 / 21

東海テレビ文化賞を受賞

－多年にわたり保存・伝承に尽力－

郡上おどり保存会が第55回東海テレビ文化賞を受賞しました。先祖代々からの郡上おどりを100年にわたり支え続け後世に伝承してきた功績が認められ、このたびの受賞となりました。山田会長は「大変名誉なことで、先人の苦勞と尽力のおかげです」「後世に伝えることの責任を重く感じています」と語られました。



▲受賞を報告する郡上おどり保存会のみなさん

11 / 23

「架鷹図屏風」を市に寄贈

－郡上市重要文化財に指定（10/27）－

郡上藩主青山家に伝来した「架鷹図屏風」が、同家から郡上市に寄贈されました。屏風は六曲一隻の押絵貼形式で、江戸時代初期の一流絵師「曾我直庵」の作品。一時、青山家を離れましたが、加藤工ミさん（八幡町）が4年前に青山家に譲渡されました。大乘寺で開催されたお披露目茶会には約100人が来場し、お茶を楽しみ、住職から屏風の解説を聞きました。



▲青山家のみなさん（右）旧所蔵者加藤さん（左端）